

# みんなのた場

## サ一フル 仲問

### 高齢男性たちが若返る場 介護予防で毎月1回開催

おしかメンズカフェ

きれいなクリスマスリース作りにはいそいそと高齢の男性たち。意外な光景ですが、軽口も飛び出し楽しい雰囲気です。牡鹿地域包括支援センターの介護予防教室の一環で月1回、牡鹿保健福祉センター清徳館で開催している「おしかメンズカフェ」の10月の活動です。

名称の通り、高齢男性だけが参加できる活動です。「男だけで気軽に集まれる場があれば」という声を受けて、平成24年度にスタートしました。旧牡鹿町地区を対象とし、本年度は毎月、60～80代の十数人が参加しています。

年度当初にどんな活動をしたのかを話し合い、年間事業を決めます。本年度は転倒予防の講話と調理実習、コミュニケーションマシーン、サン・ファン館見学、ノルディックウォーキング、クリスマス会・忘年会、書き初め、恵方巻き作りなどです。

10月24日の活動には9人が参加。牡鹿地域包括支援センターの鈴木静江所長の指導で、クリスマスリースを作りました。市販のつたのリングに花や紅葉、果物などの模造品を挟み込んで、1時間ほどでカラフルなリースを仕上げました。

鮎川浜の藤澤昭利さん(81)は「楽しく手も頭も使うので若返る。毎回参加している」と言います。鮎川浜の77歳の男性も「震災後、人が集まる機会が少ないので、これには進んで参加している。人と話す機会になるし、生活に潤いが生まれる。生きる意欲が出てくる」と話しています。

鈴木所長は「頭と手足を使うことが介護予防につながります」と、毎回、参加者が増えることを期待しています。



楽しそうにリース作りに励む参加者



完成したリースを手にした参加者とスタッフら

## 文化財 たんぽう

### 石巻物産陳列場として 「河北新報」記事から

生涯学習課

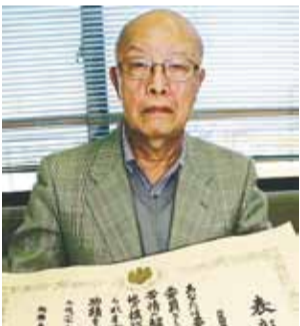
市指定文化財 旧観慶丸商店

前回は、旧観慶丸商店の建物が昭和5年に完工したことを示す棟札が発見されたことを紹介しましたが、この建物が「石巻物産陳列場」として開場したことを



昭和5年5月5日付の河北新報に掲載された「石巻物産陳列場開場」の記事の写真(上)と現在の市指定文化財「旧観慶丸商店」

## キラッとパチリ



行政相談委員

鈴木 徳雄さん 77歳  
石巻市大手町

### 総務大臣表彰を受賞

長年、行政相談委員を務めている石巻市大手町の鈴木徳雄さんが、10月の行政相談週間に合わせ、総務大臣表彰を受けました。

の平成13年4月に総務省から石巻市担当として委嘱されました。もう一人の委員と共に、石巻中央公民館で月1、2回、市民の相談に応じ、市民目の要望を聞いて国や県、市に届けています。「いろいろな人と話ができることが自分にとっての財産。今後も社会の役に立ちたい」と話していました。

## 自分たちで調理し、食べたよ



### 食育推進コーナー

穀町幼稚園では、10月に収穫したサツマイモを使って年長児(59人)がサツマイモ汁を作りました。初めての包丁にドキドキしながら先生と一緒に野菜を切ったり、鍋に野菜を入れたり、最後におみそを入れて具だくさんのサツマイモ汁が完成しました。「サツマイモがあまくておいしい」と話しながらみんなでおいしく食べました。

健康推進課(内線2617)

3月16日付 石巻商工会  
仲介の石巻物産陳列場は観慶丸の建物が今月中に完工予定であるため、4月1日に開場することとした。

3月31日付 観慶丸ビル  
工事遅延のため、物産陳列場の開場は5月1日となる。

4月7日付 石巻物産陳列場の役員を、顧問石母田町長、所長鈴木實、主事須田幸一郎、評議員坂水市郎ほか10人とする。

4月27日付 来月3日に東京の団体約500人が来石するので、それまでに出品陳列を勧める。

5月5日付 (以下原文のまま)「石巻物産陳列場開場 石巻物産陳列場は町当局商工会後援の下に観慶丸ビルに開設の準備中であるが予定の如く内部装飾

其他進捗しないので東京団体の来石まで間に合はなかったが臨時に開設すべく急いで準備を整へるとかく三日同団体が来訪するまでにどうやら陳列場を開場することになった。第一日目にはにわか造りであったが階下を玄昌石硯、節類、水産物加工品等々一通り三十余種の銘産品を揃へた。今後は漸次整備し一階陳列場に当たる由で場所は申分のない四街であるだけ 期以上の効果を収める見込である。」

観慶丸商店は、石巻商工会などが後援して産業振興を目指し、物産の展示販売施設で現代のデパートにも類する「石巻物産陳列場」が併設され、石巻の産業経済にとって大きな役割を担うことになることがうかがえます。

# まちの話題

## 触れ合いを楽しみ健康維持

震災による住民の運動不足解消と触れ合いを目的とした「雄勝わくわく御達者交流会」が10月10日、旧大須小学校で行われました。

雄勝地区で活動するさまざまな団体や地域住民が約150人参加し、片足で立つ体力チェックゲーム「フラミンゴチャンピオン」やグラウンドゴルフなどを楽しみました。交流会は平成25年から、毎年10月に開かれています。



雄勝地区

雄勝わくわく御達者交流会

河北地区

かほく産業まつり・かほく文化祭

## ハンドベルの音にうっとり

「かほく産業まつり」が10月29日に「かほく文化祭」が10月29日～11月3日まで、河北総合センターなどで開かれました。

産業まつりはサケのつかみ取りが不漁で中止となりましたが、仙台牛や魚介類の無料配布、地場産品の格安販売でにぎわいました。

文化祭は、河北文化協会加盟団体の舞踊やハンドベルなどの楽器演奏、書道や山野草、小学生の手づくり絵本などの展示がありました。



## 力作ぞろいね 視線くぎ付け

平成29年度桃生地区文化祭が11月3日・4日、桃生公民館で開かれました。

桃生文化協会に加盟する愛好会、教室などの会員のほか、小中学生らが絵や書、陶芸、手芸、菊花、生け花などの作品を展示。

来場者は見事な作品の数々に、芸術の秋を堪能していました。押し花などの体験コーナーも人気でした。市文化協会第10回合同文化祭の作品展示も同時開催されました。



桃生地区

桃生地区文化祭

河南地区

新米ふるさとまつり

## 収穫の秋をにぎやかに祝う

河南地域の魅力をアピールする「新米ふるさとまつり」が10月15日、前谷地の国指定名勝齋藤氏庭園で開かれました。

お屋にはササニシキ、ひとめぼれの新米のおにぎりや豚汁が参加者に振る舞われました。

前谷地小児童の「笠松太鼓」、河南西中吹奏楽部の演奏、子ども向けのお菓子づくり、前谷地の歴史の紹介などが行われました。



## 被災農地で育った新米味わう

東日本大震災で被災した牡鹿地区の水田で7年ぶりにコメが収穫され、祝賀行事「Re田〜んぼフェアinおしか」が11月3日、牡鹿保健福祉センター清優館で行われました。

炊きたての新米と石巻産の野菜を使った豚汁、漁業者提供の焼きガキ各300食が無料で振る舞われ、訪れた人たちは「復興農地の味」を堪能しました。今年は被災農地の一部4.5%で稲作を再開できました。



牡鹿地区

Re田〜んぼフェアinおしか

北上地区

地域まちづくり委員会

## 地域振興をお願いします!!

北上地区の地域振興を考える「北上地域まちづくり委員会」の第7期委員に対する委嘱状交付式が10月10日、北上保健センターで行われました。

委員は18人で、各種団体からの推薦11人、学識経験者2人、一般公募5人です。任期は平成31年8月31日までの2年間で、会長には佐藤富士夫さん(いしのまき農協担当理事)が選ばれました。協議では市の事業の説明を受けました。



## 「そろばんde石巻のひとづくり」に栄冠

若者の発想で市の政策を提案する「未来石巻市政策コンテスト」決勝大会が10月29日、石巻専修大学で開かれました。

高校生や大学生による12チームが参加し、市の未来像や具体的政策・予算案を発表しました。約100人の来場者が投票し、最優秀賞には石巻専修大学生による「ABACUS(アバカス)」が提案した「そろばんde石巻のひとづくり」が選ばれました。



石巻地区

未来石巻市政策コンテスト

石巻地区

石巻ハロウィン祭り

## 仮装の子ども街中にいっぱい

市子どもセンター「らいつ」は10月28日、中心商店街で子どもたちが企画した「石巻ハロウィン祭り」を開催しました。

参加者は、受け付けを済ませた後、仮装して街中の店を回り、「トリック・オア・トリート」を合言葉にお菓子をもらって歩きました。仮装の衣装作りやおばけたちのライブ、仮装コンテストなどもありました。商店街もきのこ汁や牛肉の試食などを実施しました。

